

ワンポイント家庭の医学

甲状腺機能低下症

ノドボトケの下に蝶のような形をした器官があり、この血管の豊富な内分泌腺の事を甲状腺と言います。甲状腺は、体全体の新陳代謝を支配する重要なホルモンを分泌しています。

体温調節、基礎代謝促進、タンパク質、糖質、脂質、ビタミンの代謝に作用します。以前はもっぱら、甲状腺機能亢進症や癌の疑いの為に検査する事が多かったのですが、最近は甲状腺機能の低下症が問題になってきています。最近眠れないとか、疲れやすい、体がむくむ、心臓の働きが低下しているようだとか、太りやすくなったという方は、甲状腺機能の低下症かもしれません。低下症の場合、血中の総コレステロール値が高くなります。ただ低下症は、あまり症状がはっきりしない為、ドクターでさえも見逃されるケースも多くあります。

ちなみに、甲状腺機能亢進症になると、総コレステロールは低下します。これは、コレステロールの合成は促進されるのに胆汁酸として、排泄される量が多い為です。そのかわり、中性脂肪の分解が促進され、血中の遊離脂肪酸が増えます。

症状として、手足の震えや、動悸、体温の上昇、発汗、眼球突出、体重減少などがあります。

これらのほとんどは、生活習慣によって作られていることが多いのです。自分の食べたい食品とカラダが欲している食品とは必ずしも一致しません。カラダが必要としている食品を意識して摂っていかないと病気を創るのです。